

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

もうすぐ五月!

新緑が眩しいです

新しいメンバーで青嶺中学校がスタートし、一ヶ月が過ぎようとしています。それぞれの学年での最初のぎこちなさは薄れつつあり、元気に伸び伸びと学校生活を楽しくしています。こちらにも嬉しくなります。一年生は元気で大きな声で挨拶を返してくれました。笑顔が飛び切り素敵で明るい雰囲気になってくれます。二年生は下級生のパワーに時には圧倒されつつも、先輩らしく落ち着いた態度で先を見越した行動は後輩の良きお手本です。三年生は様々な場面成長した姿が見られ全校で行動する際には適切な声掛け指示で集団を動かします。さすがの最上級生です。教職員との関係も少しずつ構築し、学年や学校の雰囲気が出来上がってきました。体育大会に向けての成長が本当に楽しみです!

生き物の進化とは

深海に棲むシーラカンスは、一億年以上の間、ほとんど変わらぬ姿で生き続けてきました。極端に省エネで、安定した深海という環境とゆっくりとした成長速度で百年以上生きる個体もあるそうです。気の遠くなるような時間ですね。カンガルーは光に反応する習性があり、時には走ってくる車に飛び込んで命を落とすことがあります。そんなカンガルーです。進化は多くの場合、環境の変化や生存に関わる圧力によって促進されますが、カンガルーが車のライトに反応する行動は比較的新しい現象で、今から百年足らずの出来事なのです。進化には数千年から数百万年という長い時間がかかることが一般的です。シーラカンスが約一億年もの間ほとんど変わらない形態を維持しているのは、深海という安定した環境に適応しているためです。一方、カンガルーのような陸上動物は、環境

の変化に対して、比較的早く適応することができず、それでも遺伝的な変化が起こるには多くの世代を経る必要があります。また、遺伝子の進化は偶然の突然変異と自然選択の結果であり、特定の行動が生存や繁殖に大きな影響を与える必要があります。カンガルーが車のライトに飛び込む行動が生存に大きな影響を与える場合、長い時間をかけてその行動が減少する可能性はありますが、すぐに変わることは難しいでしょう。進化の過程は非常に複雑で、多くの要因が絡み合っています。カンガルーが光に対する反応を進化させるには、まだまだ時間がかかるかと考えられるからです。では人間はどうでしょうか? 人類の進化について考えるときそれは生物学的な変化だけでなく、文化的、社会的な変化も含まれます。生物学的には、環境の変化に伴いながら人類は、依然として進化しています。しかし、戦争や争いが愚かだと分かっているにもかかわらず、戦い続けることができないのです。戦争や紛争の問題は、社会的政治的な側面に関わるもので、生物学的な進化とは異なる領域です。戦争や紛争が続く理由には、資源の争奪、権力の維持、文化的・宗教的な対立など多くの複雑な要因が絡んでいます。

人類が戦争を止めることができないうことは「退化」なのでしょう。それは進化の過程とは異なる問題です。進化は長い時間をかけて起こるものであり、人類の社会的な進歩や倫理的な成長もまた時間を要します。

それでも、人類は平和を追求し紛争を解決するための努力を続けています。国際協力や教育、技術の進歩などを通じて、より平和な世界を目指す動きもあるのです。私たちが進化し続けるためには何が必要なのか、どうするべきなのかを常に考え続ける必要があるように思います。いろいろな価値観や文化的背景の異なる人との対話を粘り強く続け、共存共栄への道を諦めずに探りましょう。その実現こそが、子孫のために人類が努力を積み重ねた正当な「進化」なのです。

「佐賀から世界へ」

県内で唯一の佐賀空港から、国内線はANAが東京まで一日5便運航しています。以前は大阪や名古屋行もあり、春秋航空も千葉県の成田空港まで便を飛ばしていましたが、現在は、利用客の減少からなくなっていました。ですが、海外へは佐賀から三つの国へ行くことができます。お隣の韓国へは「MUSAN」航空がソウルの仁川国際空港まで、また春秋航空は中国上海の浦東国際空港へ、そしてタイガーエア

が台湾まで運航しています。正式名称「九州佐賀国際空港」は出入国検査場や、税関を備えた立派な国際空港です。上海やソウルなどの空港を経由すると、ヨーロッパやアメリカなど世界各地へ行くことができます。

例えば西オーストラリアのパースまでならば、「MUSAN」で韓国に向かいエアアジアXに乗り替えて、マレーシアのクアラルンプールに行きます。一晩泊まり、午前中の便でパースに向かえば4時ごろにはオーストラリアに到着します。正味丸一日ですね(笑)。

4日ほど滞在し、帰りは夕方からシンガポール航空でパースからチャンギ国際空港に向い、4時間のトランジットで中国上海へ。朝6時に到着して春秋航空で上海から佐賀に戻って来ることが出来ます。それぞれの空港は「ハブ空港」と呼ばれ空港内を電車で移動するのも当たり前で、乗り継ぐだけでも違う文化と圧倒的な施設にただただ圧倒されます。先ほどのオーストラリア往復で航空券のお値段は9万円前後です。将来お金を貯めて是非世界各地へと飛び立ちたい。きつと素晴らしい体験があなたを待っています。

校長室より

今年は昨年より出張の数が減り学校にいる日が増えました。昼休みの図書館での生徒たちとの他愛もない会話は私のエネルギー源です。楽しい楽しい毎日です。